

第8回リコピンセミナー



LycoRed Around the World

トマトに多く含まれる注目のカロテノイド「リコピン」などの抗酸化剤を豊富に含んだライコマートは、何の添加物も含まない純粋な自然製品です。

ライコレッド株式会社は、進行中の医学的、科学的研究から、自然トマト・リコピンの健康上の利点に関する最新情報と資料を継続的に提供致します。ライコマート製品、および健康食品とニュートラシューティカルへのアプリケーションについて詳しくお知りになりたい方は、弊社までご連絡下さい。



本日のプログラム

13:30 開会

13:55 開会挨拶 VP セールス & マーケティングの Ilan Ron の開会の挨拶
Opening Welcome by Ilan Ron, VP Sales & Marketing

第1部

14:00 プレゼンテーション
Dr. Rachel Levy PhD
ネゲブのベングリオン大学
リコピン、ルテイン、カルノシン酸の組合わせの相乗的抗炎症効果
The Synergistic Anti-inflammatory Effect of Lycopene, Lutein and Carnosic Acid Combinations

14:30 プレゼンテーション
Dr. 佐藤充克 PhD Dr. Michikatsu Sato
山梨大学ワイン人材生涯養成拠点
トマト・リコピンのDNA保護効果効果 Prevention of DNA Damage with Tomato Lycopene

15:00 コーヒーブレイク Coffee Break

第2部

15:30 プレゼンテーション
Dr. Fabien Havas PhD
IBR 株式会社
天然のフィトエンとフィトフルエン抽出物のための明るい肌、美白 & 肌のトーンの均一
Natural Phytoene and Phytofluene Extracts for Skin Lightening, Whitening & Evening of Skin Tone

16:00 **Morris Zelkha, CEO**の閉会のことば 記者会見と挨拶と面会 Closing Remarks
Press Interviews and Meet and Greet.

講演者達との面談と世界中のライコレッド社製品の見学

17:00 終了





● Rachel Levy, Ph.D.

■ ネゲブのベングリオン大学より博士号を授与された。彼女はアメリカ、メリーランド州の国立衛生研究所で博士課程終了後の特別研究員の仕事をした。

Rachel Levy教授は彼女のアカデミック・キャリアを宿主防御メカニズムに捧げてきた。NADPH酸化酵素による超酸化物の産生と細胞質型ホスホリパーゼA₂(cPLA₂)によるプロ炎症性脂質メディエーターが宿主防御メカニズムにとって最も重要な機能である。しかし生理的状態の変化の間に、超酸化物と脂質メディエーターは炎症反応を増進し、組織の損傷を起して多くの疾患を促進する過程に加わる可能性がある。彼女の研究は特に、バクテリアに対する防御に極めて重要な顆粒球と単核白血球に焦点を当てられている。白血球機能を調節する生化学的過程を理解することは、感染と炎症の間に細胞の活性を制御し、バクテリアを殺して炎症を防ぐ細胞の力を増すために不可欠である。Levy教授のグループの研究は、cPLA₂がNADH酸化酵素の活性を調節することを明らかにしたので、その阻害がエイコサノイドの形成を減少させるばかりでなく、又種々の炎症性疾患の病理発生に関与する活性酸素の制御されていない放出を調節するはずである。更に、体内における炎症、或いは試験管内における炎症状態の間、両方の酵素—cPLA₂とNADPH酸化酵素のレベルと活性が好中球と単球において上昇することが示された。実際、Levy教授のグループは、チオグリコール酸塩誘導腹膜炎とコラーゲン誘導関節炎のそれぞれのマウスモデルで腹膜炎と関節リウマチに対して証明されたように炎症を減少させるために非常に特効的であることが発見されたcPLA₂を標的にしたアンチセンス・オリゴ核酸塩を開発した。このアンチセンス薬がアルツハイマー病などの炎症性疾患に及ぼす効果は今開発中である。



● 佐藤 充克 Ph.D.

■ 山梨大学ワイン人材生涯養成拠点

昭和46年東北大学農学部農芸化学科卒業、メルシャン(株)入社、昭和49~52年、東京大学農学部発酵学教室受託研究員、平成3~4年カリフォルニア大学デービス校Research Associate、平成11~14年、メルシャン(株)酒類研究所・所長、赤ワイン・ポリフェノールの研究を積極展開。平成15~18年NEDOアルコール事業本部、研究開発センター所長、平成18~23年3月、山梨大学大学院ワイン科学研究センター、ワイン人材生涯養成拠点・特任教授。現在、ワイン人材生涯養成拠点の非常勤コーディネーター。山形大学非常勤講師、JSoFF功労会員、米国ブドウ・ワイン学会名誉会員、JBAアルコール・バイオマス研究会副会長。特許、著書、論文多数。



● Fabien Havas Ph.D.

■ 科学者 IBR 株式会社

Havas博士は、2004年にオハイオ州立大学で、天然製品の有機合成の研究によって博士号を取得した;この後フランス、トゥールーズのフランス国立科学研究センターで、分子探針に取り組む博士研究員になった。

Havas博士は、2004年にプロテクター・アンド・ギャンブルに入社して、洗剤やスキン・ケアの製剤を開発した。

2010年、Havas博士はIBRに移って、化粧品業界のため新しい植物活性物質の発見と開発において、トップの科学者、製剤調合者としての役割を果たしている。



LYCORED
<http://www.lycomato.jp>

